

武儀郡進德興農會規約

第一條 本會ハ會員相互ノ徳ヲ進メ農業者ヲ誘掖指導シ農事ノ改良發達ヲ計ルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ武儀郡進德興農會ト稱シ事務所ヲ武儀郡農會事務所内ニ置キ左記事項ヲ實行シ又ハ町村地主會ヲシテ實行ニ務メシムルモノトス

一、小作者ニ對シ土地ノ改良ヲ獎勵スルコト

二、種子ノ選擇、澆水播種法、麥奴豫防法、稻共同苗代作製、稻正條植、害虫驅除豫防、綠肥栽培等ヲ獎勵スルコト

三、堆質肥料ノ製造ヲ獎勵スルコト

四、家畜家禽ノ飼養ヲ獎勵スルコト

五、産米改良ニ關シ明治三十八年本縣告諭第八號ヲ遵守スルハ勿論、同年本縣訓令第八十號ニ基キ指示セラレタル事項ノ實行ヲ幫助シ之レカ獎勵スルコト

六、各町村ニ於テ定メタル農事改良實行規約ノ實行ニ關シテハ務メテ之レカ獎勵ヲ爲シ及便宜ヲ與フルコト

七、小作米ハ産米改良實行規約ニ基キ検査ヲ得タルモノニアラサレハ受取ラサルコト

八、小作者、害虫驅除豫防又ハ耕耘肥培ヲ怠リ爲ニ減收ヲ來タシメルトキハ地主ハ小作米ヲ減シ又ハ一定ノ納期ヲ猶豫セサルコト

九、勤勉篤實ニシテ他ノ龜鑑トナルヘキ小作者ヲ旌表スルコト

十、産米組合ノ設立ヲ獎勵スルコト

十一、種苗、肥料、農具等ノ共同購入ヲ獎勵シ且ツ之レカ斡旋ヲナス

十二、農事改良ニ要スル資金融通ノ途ヲ圖ルコト

十三、農事上ノ智識ヲ啓發スルタメ農談會及農事講習會ヲ開催セシムルコト

右ノ外本會ニ於テ必要ト認メタル事項

第三條 本會員ヲ分チテ左ノ二種トス

一、通常會員 郡内ニ耕地ヲ所有シ本會ノ主意ヲ賛同入會シタルモノ

但シ郡内ニ耕地三丁歩以上又ハ耕地地價千圓以上ヲ所有スルモノハ會員タル義務ヲ有スルモノトス

一、名譽會員 本會總會ニ於テ推選シタルモノ

第四條 前條ノ名譽會員ハ名譽會員タルノ推選ヲ受クルト同時ニ通常會員ト同一ノ權限ヲ有スルモノトス但議決權ヲ有セス

第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會 頭	壹 名
副 會 頭	壹 名
顧 問	若 干 名
評 議 員	三 十 一 名
理 事	三 十 三 名
縣地主會出席代表者	三 名

第六條 會頭、副會頭及代表者ハ總會ニ於テ之ヲ選舉シ其ノ任期ヲ三ケ年トス但任期滿了後ト雖モ後任者就職ニ至ルマテ其ノ職務ヲ執行スルモノトス

顧問及理事ハ會頭之ヲ選囑ス

評議員ハ總會ニ於テ一町村一名會員中ヨリ之ヲ選舉シ其任期ハ三ケ年トス但任欠選舉ニ依ル評議員ハ前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

第七條 會頭ハ本會ニ關スル一切ノ事務ヲ統理シ會議ノ議長トナリ議事ヲ整理シ且ツ本會ヲ代表ス

副會頭ハ會頭事故アル時其ノ職務ヲ代理ス會頭副會頭共ニ事故アリテ出席セサル時ハ出席員ノ協議ニヨリ臨時代理者ヲ定ムル

コトヲ得

第八條 顧問ハ會務ニ付會頭ノ諮問ニ應ス

第九條 評議員ハ總會ノ議案ヲ審査シ緊急處理ヲ要スル事項及總會ノ委任ヲ受ケタル事項ニ限リ總會ニ代リテ議決ス

第十條 理事ハ會頭ノ旨ヲ受ケ會務ヲ整理ス

第十一條 總會ハ通常及臨時ノ二種トス

通常總會ハ毎年一回之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ之ヲ開ク

一、會頭ニ於テ必要ト認ムル時

一、會員五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及招集ノ理由ヲ示シテ請求シタルトキ

第十二條 總會ニ於テ決議又ハ協議スヘキ事項左ノ如シ

一、本會ノ目的ヲ遂行スルニ必要ナル事項

一、豫算決算ニ關スル事項

一、本會規約ヲ以テ定メタル事項

一、其他會頭ニ於テ必要ト認ムル事項

第十三條 總會ハ會頭之ヲ招集ス

第十四條 通常會員ハ毎年左記標準ニヨリ會費ヲ賦出スルモノトス

所有地價千圓未満及之ニ準スヘキモノ

同 貳千圓未満及 同 上 金 貳拾錢

同 貳千圓未満及 同 上 金 參拾錢

同 參千圓未満及 同 上 金 四拾錢

同 五千圓未満及 同 上 金 五拾錢

同 壹万圓未満及 同 上 金 壹圓

同 貳万圓未満及 同 上 金 貳圓

同 貳万圓以上及 同 上 金 參圓

第十五條 前條會費ハ毎年四月三十日限リ各町村理事ニ納付スルモノトス

第十六條 本規約ハ總會ニ於テ出席會員三分ノ二以上ノ同意アルニアラサレハ改正増補スルコトヲ得ス

加茂郡地主會規約

第一條 本會ハ會員相互ノ親睦ヲ保チ農事ノ改良發達ヲ計ルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ加茂郡地主會ト稱シ事務所ヲ加茂郡農會内ニ置ク

第三條 本會員ヲ分チテ左ノ二種トス

一 通常會員本郡内ノ耕地反別三町歩以上若シクハ地價千圓以上ヲ所有シ本會ノ目的ヲ賛同シ本會ニ加入シタルモノ

一 名譽會員本會總會ニ於テ推薦シタルモノ

第四條 前條ノ名譽會員ハ名譽會員タルノ推薦ヲ受クルト同時ニ通常會員ト同一ノ權限ヲ有スルモノトス但議決權ヲ有セズ

第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長 壹名

副會長 壹名

顧問 若干名

評議員 貳拾七名

理事 若干名

縣地主會出席代表者 參名以内

第六條 會長副會長及代表者ハ總會ニ於テ之ヲ選舉シ其任期ヲ三ケ年トス但任期滿了ノ後ト雖モ後任者就職ニ至ルマテ其職務ヲ執行スルモノトス

顧問及理事ハ會長之ヲ選囑ス

評議員ハ總會ニ於テ左ノ員數ニヨリ會員中ヨリ之ヲ選舉シ其ノ任期ハ三ケ年トス但補欠選舉ニヨル評議員ハ前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

但各町村毎ニ一人

第七條 會長ハ本會ニ關スル一切ノ事務ヲ統理シ會議ノ議長トナリ議事ヲ整理シ且ツ本會ヲ代表ス

副會長ハ會長事取アルトキ其職務ヲ代理ス

會長副會長共ニ事故アリテ出席セサルトキハ出席員ノ協議ニヨリ臨時代理者ヲ定ムル事ヲ得

第八條 顧問ハ會務ニ付會長ノ諮問ニ應ス

第九條 評議員ハ總會ノ議案ヲ審査シ緊急處理ヲ要スル事項及總會ノ委任ヲ受ケタル事項ニ限リ總會ニ代リテ議決ス

第十條 理事ハ會長ノ旨ヲ承ケ會務ヲ整理ス

第十一條 總會ハ通常及臨時ノ二種トス

通常總會ハ毎年一回之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ之ヲ開ク

一 會長ニ於テ必要ト認ムル時

一 會員五分ノ一以上ヨリ會議ノ目的及招集ノ理由ヲ示シテ請求シタル時

第十二條 總會ニ於テ決議又ハ協議スヘキ事項左ノ如シ

一 本會ノ目的ヲ遂行スルニ必要ナル事項

一 豫算決算ニ關スル事項

一 本會規約ヲ以テ定メタル事項

一 其他會長ニ於テ必要ト認ムル事項

第十三條 總會ハ會長之ヲ招集ス

第十四條 會員ハ毎年左ノ標準ニ依リ會費ヲ納ムルモノトス但名譽會員ハ會費ヲ納ムルノ義務ナキモノトス

一 所有耕地々價五千圓未満又ハ耕地反別五町步未満 金 七 拾 錢

一 同 壹万圓未満又ハ耕地反別七町步未満 金 壹 圓 五 拾 錢

一 同 壹万圓以上 金 參 圓

一 同 貳万圓以上 金 五 圓

第十五條 本規約ハ總會ニ於テ出席會員三分ノ二以上ノ同意アルニアラサレハ改正増補スルコトヲ得ス

惠那郡地主會規約

第一條 本會ハ郡内地主ヲ以テ組織シ地主ト小作人トノ間相互ノ意思ヲ疏通シ共同ノ利益農事ノ改良發達ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ惠那郡地主會ト稱シ事務所ヲ惠那郡農會事務所内ニ置ク

第三條 本會ノ目的ヲ達スル爲メ本會及會員ノ地主ハ左ノ事項ヲ實行スルモノトス

(一) 地主ハ小作人ニシテ不法ノ行爲ナキ限リハ妄リニ變更ヲナササルコト

(二) 地主ハ現在田畑ノ小作料ハ特別ノ場合ノ外從來ノ額ヨリ増徴セサルハ勿論小作人ニヨリテ施サレタル土地ノ改良ニ件フ増收ニ對シテハ小作料ヲ増徴セサルコト

(三) 地主ハ明治三十八年本縣告諭第七號及同年本縣訓令第八十號ヲ遵守シ佳良ナル産米ヲ納入スル小作人コ對シテハ左記ノ標準ニヨリ報勞金ヲ與フルコト

標準

- 壹等米 四斗二升入一俵ニ付金拾五錢
- 貳等米 同 金拾錢
- 參等米 ハ報勞金ヲ與ヘス
- 參等米ニ下ル以下ノ劣等米ハ參等米ノ格ニ値スル増米ヲナサシムルコト
- 以上米等級ノ審査方法ハ當該町村農會ノ定メタル規定ニヨルコト (附屬第三參看)
- (四) 地主各自又ハ一町村若クハ一部落ノ地主便宜聯合シテ小作米品評會ヲ開キ成績優等ノ者ニ對シテハ賞與ヲ行フコト但品評會ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム (別案第二號參看)
- (五) 本會又ハ各地主ハ小作人ニシテ農事上他ノ模範トナスニ足ルヘキモノニ對シテハ適宜ノ方法ヲ以テ表彰ヲ行フコト但シ表彰ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム (別案第三號參看)
- (六) 地主ハ米麥ノ良種選擇及鹽水攪種法、產米改良法、麥奴豫防、害虫驅除豫防、共同集合苗代田作成、馬耕、稻正條植、綠肥栽培其他諸般農事ノ改良ニ付所屬町村農會ノ施設ヲ援助シ率先之レカ獎勵ヲナスコト
- (七) 地主ハ各自又ハ本會ニ於テ委員ヲ選ミ有名ナル他地方ノ農業狀態若クハ產業組合等ヲ視察シ小作人ノ鼓舞及地主自己經營ノ參考トシ併セテ一般農事ノ改良ニ資スルコト
- (八) 地主ハ時々小作地ヲ巡視シ農事ノ勤勉改良ヲ獎勵スルノミナラス小作人家事ノ狀態ヲモ視察シ有益ノ指導ヲ爲シ併セテ其勞ヲ慰勞スルコト
- (九) 地主ハ時々自己ノ庭園又ハ適宜ノ場所ニ小作人ヲ集會シ農事ノ改良其他必要ノ事柄ヲ懇談シ兼テ意志ノ疏通融和ヲ圖ルコト
- (十) 地主ハ米麥其他蔬菜果樹等ノ良種子ヲ選擇シ其小作人ニ低價又ハ無代ニテ配與シ之レカ改良栽培ヲ獎勵スルコト
- (十一) 地主ハ農事改良上必要ナル器具材料ニシテ小作人ニ於テ容易ニ設備シ能ハサル時ハ之レカ購入資金ノ斡旋ヲナシ又ハ給與若クハ貸與スル等ノ方法ヲ以テ其改良實行ニ便宜ヲ與フルコト

- (十二) 地主ハ農村ノ風紀ヲ矯正シテ勤儉力行ノ美風ヲ養成シ其町村自治ノ發展又ハ實業補習學校、青年會、婦人會等ノ振興ヲ援助シ進テ感化慈善等ノ事業ヲ企畫スルコト
 - (十三) 地主ハ左記ノ概目ニヨリ其地方ニ適切ナル產業組合ノ組織ヲ率先獎勵シ農家經濟ノ上進ヲ圖ルコト
- 產業組合 概目
- (イ) 信用組合 農業ニ必要ナル資金ノ供給勤儉貯蓄
 - (ロ) 販賣組合 農產物及農產製造物ノ共同販賣
 - (ハ) 購買組合 肥料、種苗、農具等ノ共同購買及生計品ノ共同購買
 - (ニ) 生産組合 農業用器具器械類共同使用、農產製造、其他農產物加工、蠶室蠶具消毒、蠶種共同貯藏、蠶繭ノ共同殺蛹乾燥、稚蠶共同飼育
 - (四) 地主ハ小作人ニシテ水火ノ災害ニ罹リ生計ニ困難スル者アルトキ適宜ノ方法ヲ以テ相當救済ノ道ヲ圖ルコト
 - (五) 以上ノ外地主ハ其居住町村ニ既定シナル勤業上ニ於ケル施設成案ノ事項ニ對シ之レカ實行ヲ援助獎勵スルコト
- 第四條 本會員ヲ別チテ左ノ二種トス
- (一) 通常會員 本郡内ニ土地ヲ所有シ小作米若シクハ右ニ相當スル料金ヲ取得スルモノヲ以テ之レニ充ツ
 - (二) 名譽會員 本會ニ於テ推選シタルモノヲ以テ之レニ充ツ
- 第五條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
- | | |
|-----|----|
| 會長 | 壹名 |
| 副會長 | 壹名 |
| 評議員 | 六名 |

第六條 會長副會長ハ總會ニ於テ之ヲ選舉シ其任期ヲ三ケ年トス但任期滿了後ト雖後任者就職ニ至ル迄其職務ヲ執行スルモノトス

理事ハ會長之ヲ選囑ス

評議員ハ總會ニ於テ會員中ヨリ之ヲ選舉シ其任期ハ三ケ年トス但補欠選舉ニヨルモノハ前任者ノ殘任期間在職スルモノトス

第七條 會長ハ本會一切ノ事務ヲ統理シ會議ノ議長トナリ且本會ヲ代表ス

副會長ハ會長事故アルトキ其職務ヲ代理ス

第八條 評議員ハ評議員會ニ列シ總會ノ議案ヲ審査シ尙左ノ事項ヲ議決スルモノトス

(一) 總會ニ於テ決議又ハ協議シタル事項ノ施行方法ヲ定ムルコト

(二) 臨時急應會ヲ開カル、トキ本會ニ代リ議決スルコト

(三) 農事ノ施設改良ニ關シ官廳ノ諮問ニ答フルコト

(四) 右ノ外本會ノ施設ニ關シ會長ニ於テ評議員ノ協議ヲ必要ト認メタルトキ

第九條 理事ハ會長ノ旨ヲ承ケ會務ヲ整理ス

第十條 總會ヲ分チテ通常及臨時ノ二種トス

通常總會ハ毎年一回春季ニ之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

(イ) 會長ニ於テ必要ト認メタルトキ

(ロ) 會員五分ノ一以上ノ同意ヲ以テ招集ノ理由ヲ具シ請求シタルトキ

(ハ) 臨時急應會ヲ要スル事件ニシテ會長ニ於テ總會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルトキハ評議員會ヲ開キ代決セシムルコトヲ得但其經費ノ豫算ハ二百圓ヲ越ユルコトヲ得ス

第十一條 總會ハ經費ノ豫算収収ノ方法前年度ノ經費決算諸報告其他重要ナル事項ヲ議定スルモノトス

第十二條 總會及評議員會ハ會長之レヲ招集ス

第十三條 總會ノ出席ハ會員中所有地價一千圓以上ノモノ及家族ノ所有地價ヲ合算シテ一千圓以上ニ達スルモノヲ以テ之レニ充ツルモノトス

第十四條 本會ノ會員ハ會議ノ決議ニ服従スルノ義務アルモノトス

第十五條 本會ノ費用ハ地價一千圓以上ノモノ及家族ノ所有地價ヲ合算シテ一千圓以上ニ達スル會員ニ於テ負擔スルモノトス

第十六條 本會ノ會計年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第十七條 規約ハ總會ニ於テ出席會員三分ノ二以上ノ同意アルニアラサレハ改正増補スルコトヲ得ス

附 則

第十八條 各町村ニ於テ其町村地主會ノ設立ヲ要スルトキハ本規約ノ旨趣ニ準據シ便宜組織スヘシ但本會ト町村地主會トハ總テ氣脈ヲ通シ相互連絡協力スルヲ要ス

2、産米検査

1、海津郡

同郡ハ長良揖斐ノ二川流域中最モ低地ニシテ四圍堤塘ヲ環シ海拔僅ニ二尺内外常ニ潑水ノ被害多キ爲メ郡内八ヶ所ニ排水機ヲ使用シ漸ク稻作ヲ爲シツ、アリ從テ乾燥不良、品質粗惡ナリシニ米納ノ制廢止セラル、ト共ニ益其度ヲ増シ市價常ニ頗ル低位ヲ示シツ、アリ特ニ晚刈ノ弊ハ一層米質ヲ粗惡ナラシムル

ノミナラス收量ヲモ減少シ農家ニ取リ非常ノ不利益ナルヲ以テ或ハ講話ヲ開キ或ハ賞與ヲ與ヘ以テ早刈ヲ獎勵セシニ依リ幾分カ其弊ヲ矯正スルヲ得タルモ米質俵裝ハ依然舊套ヲ脱セス明治三十八年縣告諭第七號及訓令第八十號ヲ以テ産米ノ改良ヲ獎勵セラル、ニ當リ遂ニ郡費ヲ以テ郡農會ニ特別補助ヲ與ヘ以テ試験的ニ三十九年産米ヨリ検査ヲ實行セシムルコト、セリ

明治四十年ニ至リテハ郡事業トシテ検査ヲ行ヒ明治四十一年ニハ郡篤農會ヲ組織シ大ニ小作者獎勵ノ法ヲ講セリ爾後年ヲ逐ヒ進歩ノ實蹟ヲ示シツ、アルモ縣ノ出張検査ノ獎勵ノ結果其必要ヲ認メサルニ至リ大正元年度ヲ以テ一先之ヲ中止セリ今各年別検査ノ成績ヲ舉クレハ左ノ如シ

海津郡産米検査一覽表

年次	検査總俵數	成績		備考
		優等米	合格米	
明治三十九年	六、三〇一	三、五七	二、〇一七	郡農會事業
同 四十年	一、三六一	一、〇九	一、五、一〇〇	郡農會事業
同 四十一年	五、四六八	一、五〇四	二、六六九	郡農會事業
同 四十二年	五、六六八	二、七二	三、五〇五	郡農會事業
同 四十三年	五、〇八五	三、七四三	三、八七九	郡農會事業
同 四十四年	四、三三三	三、四四五	二、四一七	郡農會事業
大正元年	五、〇三九	三、三六五	二、〇一〇	郡農會事業

検査施行ノ結果乾燥調製一般ニ改良セラレ従前ニ比シ大ニ其面目ヲ一新セリ今其概畧ヲ舉クレハ左ノ如

- 一、容量ノ一定トナリシコト
- 二、品種ノ改良セラレシコト
- 三、乾燥ノ佳良トナリシコト
- 四、調製ノ良好トナリシコト
- 五、取引上ノ信用ヲ博シ販路ヲ擴張シタルコト
- 六、地主小作者間ノ圓滿トナリシコト
- 七、早刈ノ實行多キニ至リシコト
- 八、俵裝ノ改良セラレシコト

左ニ其検査規則ヲ舉クヘシ

海津郡産米改良検査規則

- 第一條 海津郡産米ハ本則ニ依リ改良ノ獎勵並ニ検査ヲ行フ
- 第二條 獎勵スヘキ事項左ノ如シ
 - 一 各大字ニ共同受檢所ヲ設置セシムルコト
 - 二 地主ヲシテ小作人ヲ保護獎勵スルノ方法ヲ講セシムルコト
 - 三 適期刈乾燥、調製及俵入俵裝ヲ改良セシムルコト
- 第三條 検査ハ俵裝容量調製乾燥品質粒形ニ就キ之ヲ行フ
- 第四條 検査ハ各地主ノ請求ニヨリ産米検査員出張シ之ヲ行フ
- 第五條 検査ヲ受クヘキ米ハ左記各號ニ據ルヘシ

- 一 乾燥ヲ充分ナラシムルコト
 - 二 調製ヲ完全ニシテ穀屑屑米(碎米ヲ含ム)赤米種又ハ土砂塵芥等ノ混入糠ノ附着ヲキコト
 - 三 粒形齊一ニシテ異質米又ハ生産年度ノ異ナル米ヲ混合セサルコト
 - 四 一俵ノ容量ハ四斗二升トス
 - 五 俵裝ハ左ノ方法ニ據リ堅牢ニスルコト
 - イ 俵ハ二重トシ乾燥セルスグリ藁ニテ製シ内外トモ四箇所編トシ内俵ハ六百匁以上七百匁以下外俵ハ四百匁以上五百匁以下トスルコト
 - ロ 棧俵ハ乾燥セルスグリ藁ニテ製シ直徑凡九寸一箇凡六十匁トスルコト
 - ハ 横繩ハ周リ八分以上ノモノヲ用ヒ二廻リツ、内俵ハ三箇所以上外俵ハ五箇所緊縛シ不動繩ハ周リ一寸以上ノモノヲ用ヒ四方掛トシ横繩五箇所ニ捻掛結ヒトスルコト
 - 但外俵ノ兩口ハ「カバリ」九ヶ所取リト爲シ緻密ニ緊縮スルコト
- 第六條 検査米ノ俵裝ニ附スル證印ヲ分チテ左ノ二種トス
- 一 合格
 - 二 不合格
- 第七條 産米検査ハ毎年十一月一日ヨリ翌年一月三十一日限リトス産米検査請求者ハ受檢場所受檢豫定月日及ヒ受檢俵數ヲ記シ(第一號様式)郡長ニ請求スルモノトス但シ時宜ニヨリ本條ノ期間ハ伸縮スルコトアルヘシ
- 第八條 検査員ハ自己ニ利害ノ關係アル産米ヲ検査スルコトヲ得ス
- 第九條 第五條第四號第五號ノ規定ニ違背シタルモノアルトキハ検査員ニ於テ容量ノ補足又ハ改俵ヲ命スルモノトス 調製不良ニシテ再調ノ必要アリト認ムルモノハ検査員ニ於テ之カ再調ヲ命スルコトアルヘシ
- 第十條 検査済ノ米穀ニシテ俵裝毀損又ハ其ノ他ノ事故ニ依リ改俵シタルトキハ其事實ヲ申出テ更ニ検査證印ヲ受クルコトヲ得

證印磨滅シタルトキ亦同シ

- 第十一條 検査ヲ爲シタル米穀ノ俵面ニハ第二號様形ノ證印ヲ捺捺ス但合格米ニハ合格證票ヲ交付ス
- 第十二條 検査員其ノ職務ヲ行フトキハ第三號様形ノ證票ヲ携帯ス
- 第十三條 受檢者若クハ其代理人ハ検査ニ立會シ検査員ノ指示ニ從フヘシ
- 第十四條 検査済ノ米穀ト雖モ検査員ニ於テ必要ト認メタルトキハ何時ニテモ解俵又ハ其ノ他ノ方法ニ依リ再検査ヲ爲スコトアルヘシ
- 第十五條 検査ノ爲メ必要ナル積替運搬掛廻シ秤量解俵其ノ他ニ關スル夫役及費用ハ受檢者ノ負擔トス

附 則

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

第一様式

産米検査請求書

一米 俵

受檢場所

受檢月日

大正 年 月 日

右之通り検査相成度産米検査規則第七條ニ依リ此段及請求候也

海津郡 町村大字

請求者 何 某

海津郡長

殿

第二號雛形

一 合格



徑三寸 青色

大正 年月 日交付

岐阜縣 海津郡

○ 検査員 捺印

産米検査証

一 不合格



徑三寸 青色

第三號雛形

表二

第 號

産米検査員ノ證

検査員 氏 名

裏

大正 年月 日交付

海津郡役所

紙製

海津郡産米改良検査施行細則

第一條 産米改良検査規則(以下規則ト稱ス)ニ定ムル奨励並ニ検査ハ親切公平ヲ旨トシ敏活ニ執行スヘシ

第二條 奨励ハ各小作人ニ就キ適期刈並ニ乾燥ノ奨励ヲ爲シ検査ハ左ノ順序ニ據リ之ヲ行ヒ規則第六條ノ證印ヲ捺捺ス但検査合格米ニハ合格證票ヲ縱繩結ヒ目ニ卷付ケ検査員之ニ捺印スヘシ

一 請求書記載ノ事項ト現品ト對照

二 俵裝ハ規則第五條第五號ニ該當スルコト

三 米質、調製及乾燥

四 重量及容量

第三條 産米検査ハ左記事項ヲ參酌シテ決定ス

合格 規則第五條ノ要件ヲ具備シタルモノニシテ一升ノ重量三百八十匁以上ナルモノ

不合格 合格ニ容レ難キ缺點アルモノ

第四條 米質及調製ヲ鑑定スルニハ重量ヲ測リ且ツ米刺又ハ其ノ他ノ方法ヲ以テ品質、乾燥、混合、粒形等ニ於テ鑑別ス

第五條 容量検査ハ各俵ニ付又ハ十俵未満ハ一俵以上五十俵未満ハ三俵以上百俵未満ハ五俵以上百俵以上ハ之レニ準シ必要ト認

ムル俵ヲ抽出シテ之ヲ行フヘシ

第六條 検査ノ爲メ抽出シタル刺米ハ之ヲ元俵ノ内ニ刺戻スヘシ又規則第五條ニ據ル検査ノ結果容量不足ナルコトノ確認シタル

トキハ總俵數ニ對シ不足米ヲ補足セシメタル上證印ヲ捺捺スヘシ

第七條 検査ノ際ハ申請者又ハ其ノ代理人ヲ立會ハシムヘシ

第八條 検査ニ際シ尙改善ノ必要アリト認メタルトキハ其ノ旨ヲ諭シ再調セシムヘシ

第九條 産米検査所ニハ左ノ帳簿ヲ備フ

産米検査臺帳 第一號様式

産米検査請求臺帳 第二號様式

第十條 奨励員奨励ノ爲メ出張シタルトキハ其ノ翌日第三號様式ニ依リ奨励ノ狀況ヲ復命スヘシ

第十一條 検査員検査ノ爲メ出張シタルトキハ其ノ翌日第四號様式ニ依リ検査ノ成績ヲ復命スヘシ

第一號様式

産米検査票帳

検査月日	總數	合格	不合格	請求者	検査員氏名

第二號様式

産米検査請求票帳

検査月日	検査俵數	検査場所	請求者氏名	検査員氏名

第三號様式

復命書

一月 日稻架材料準備並ニ所有狀況調査ノ爲メ
右及復命候也

町村大字

ニ出張各大字別其ノ模様左ノ如シ

大正 年 月 日

海津郡長

殿

獎勵員

何

某

復命書

一月 日稻種子拔穂(適期刈)(架干)(莖干)獎勵ノ爲メ
各大字別其模様左ノ如シ

町村大字

へ出張獎勵セリ

大正 年 月 日

海津郡長

殿

獎勵員

何

某

稻乾燥材料調査書

町村大字

獎勵員

何

某

作付田反別	稻架竹所有	同杭所有	籾干莖所有	其ノ他	氏名

第四號様式

復命書

大正 年 月 日検査
一合格 俵(四斗二升入)

町村大字

内 譯

地主

一 俵ハ一升ノ重量三百九十匁以上

- 一 俵ハ一升ノ重量三百八十五匁以上
- 一 俵ハ一升ノ重量三百八十匁以上
- 一 不合格
- 一 俵ハ一升ノ重量三百八十匁未滿
- 一 俵ハ一升ノ重量三百七十七匁未滿
- 合計 俵

右之通り検査候ニ付此段及復命候也

大正 年 月 日

海津郡長 殿

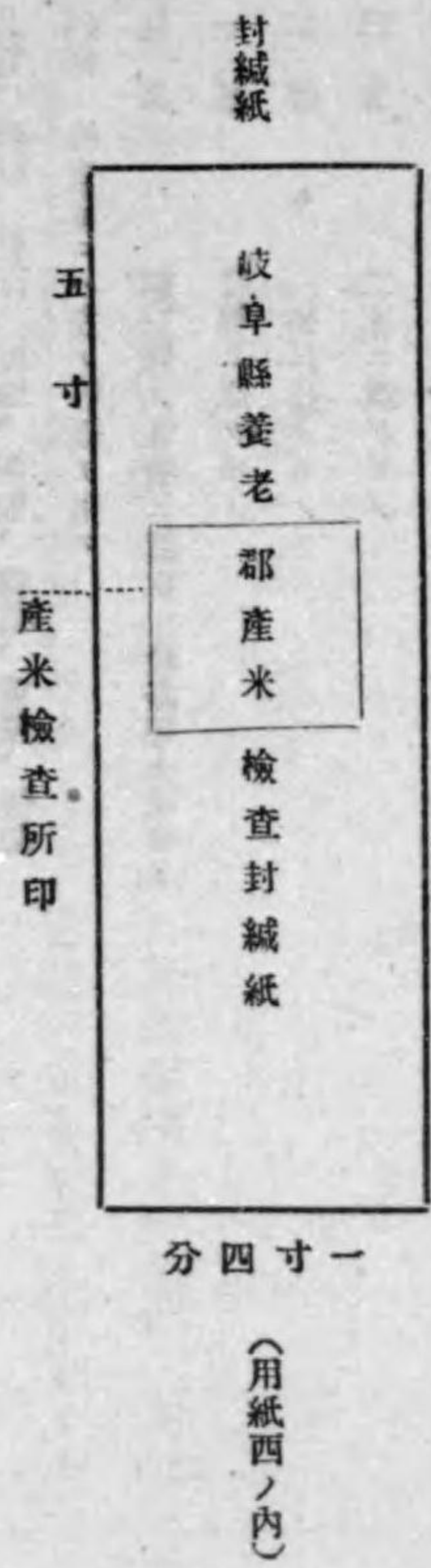
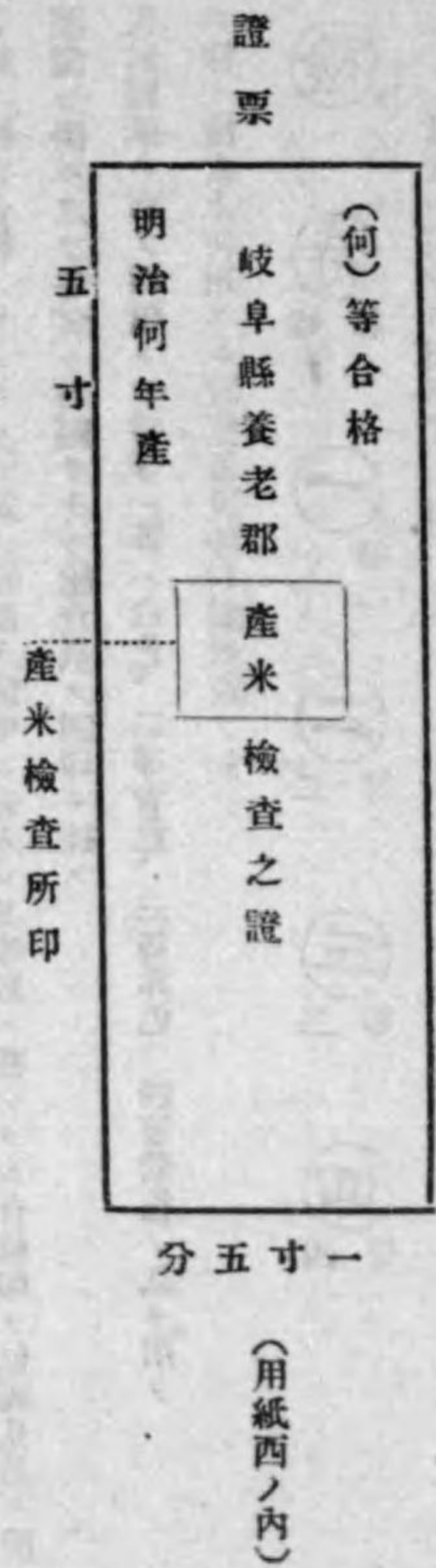
検査員 何 某

口、養老郡

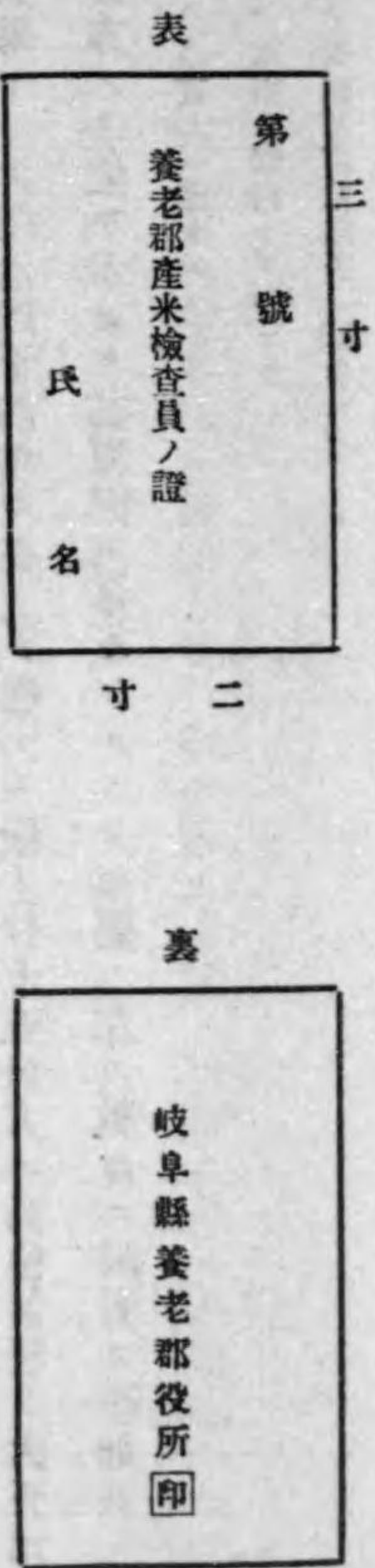
廢藩以來漸次産米ノ調製俵裝粗悪ニ流レ美濃米中ノ良米産地タル同郡ノ聲價ハ殆ント失墜シ盡シタリ依テ之カ挽回策トシテ當局ハ産米検査ノ必要ヲ認メ當業者モ亦検査ノ有利ナルコトヲ深ク感セシモ多數中ニハ間々誤解セルモノナキニアラス然レトモ今ヤ機運全ク熟シ明治四十四年七月三十一日郡告示第十九號ヲ發シ茲ニ産米検査ノ實施ヲ見ルニ至レリ其規則左ノ如シ

養老郡産米検査規則

- 第一條 本郡内ノ産米ハ本則ニヨリ検査スルモノトス
- 第二條 検査ハ共同納所ヲ設ケ(町村又ハ大字毎)町村農會若ハ団体ノ請求ニヨリ検査員出張之ヲ行フモノトス但シ一個人ト雖モ一ヶ所百俵以上ヲ集積シ検査ヲ請求スルトキハ之ニ應ス
- 第三條 検査スヘキ事項左ノ如シ
 - 品質、形状、色澤、乾燥、調製、容量、重量、俵裝
- 第四條 検査米ニハ左ノ等級ヲ附ス
 - 特等 第三條ノ各項ニ該當シ最優等ナルモノ
 - 一等 特等ニ亞クモノ
 - 二等 一等ニ亞クモノ
 - 三等 二等ニ亞クモノ
 - 四等 三等ニ亞クモノ
- 前各等ニ該當セサルモノハ不合格トス
- 第五條 検査合格ノモノニハ一定ノ證票ヲ俵中ニ差入レ其等級ニ應シタル合格印ヲ包面見易キ所ニ押捺シ封緘紙ヲ以テ不動繩トシ懸繩ニ掛ケ之ヲ卷付ケ封緘紙ナシ検査員ノ封印ヲ捺ス但封緘紙ハ別テ四種トシ特等一等ハ白色、二等青色、三等赤色、四等紫色ノ紙ヲ用フ
- 第六條 検査上使スル證票及證印封緘紙左ノ如シ
 - 特等 (特) 寸法ハ何レモ徑三寸
 - 一等 (一)
 - 二等 (二)
 - 三等 (三)
 - 四等 (四)



第七條 産米検査ハ毎年十月一日ヨリ始メ翌年二月末日限リトス
 産米検査請求者ハ納所々所在地名、産定俵数及検査期日ヲ定メ郡長ニ請求スルモノトス
 第八條 検査員ハ検査ノ節証票ヲ携帯スルモノトス其雛形左ノ如シ



第九條 検査員ハ自己ニ關係アル産米ヲ検査スルコトヲ得ス
 第十條 検査ノ節ハ請求者又ハ其代理人必ス立會スヘキモノトス
 附 則
 第十一條 産米検査ハ明治四十四年産米ヨリ施行ス

養老郡産米検査施行細則

- 第一條 産米検査規則ニ定ムル検査ハ本細則ニヨリ施行スルモノトス
- 第二條 検査ヲ爲ストキハ先ツ現品ト請求俵数トヲ照合シ次ニ調製俵装ヲ検査スルモノトス
- 第三條 産米検査ハ左ノ各號ヲ具備スルモノヲ合格トシ其他ノモノヲ不合格トス
 - 一 乾燥充分ナルモノ
 - 二 調製完全ニシテ屑米、青米、粃等ノ混入少キモノ
 - 三 粒形ノ等一ナルモノ
 - 四 俵装ハ不動掛ヲ爲シ完全ナルモノ
 - 五 一俵ノ容量ヲ四斗二升トス

第四條 検査員ニ於テ合格米ニハ産米検査規則第五條ノ證票ヲ俵中ヘ差入レ同規則第六條ノ證印ヲ俵ノ末端便宜見易キ箇所ニ押捺スルモノトス

第五條 産米検査所ニハ第一號様式ノ産米検査臺帳ヲ備フルモノトス

第六條 検査員産米ノ検査ヲ爲シタルトキハ翌日第二號様式ニ依リ検査ノ成績ヲ郡長ニ報告スルモノトス
様式畧ス

爾來明治四十四年及大正元年兩年度ノ検査ヲ實施セシノミニテハ尙淺シト雖モ營業者ハ検査ノ効果ヲ知悉シ逐年受檢數ヲ増加セリ其成績左ノ如シ

養老郡産米検査一覽表

年次	検査總俵數	成績				備考
		特等	一等	二等	三等	
明治四十四年	一一、二三	一	七〇	三、六八	四、五二	二、七〇
大正元年	三、八三	三	三五	三、三六	五、六二	二、八八

〔縣検査ト一致セシムル爲メ特等及四等ノ二級ヲ増加ス〕

検査ノ効果トシテ明治四十四年ニ在リテ已ニ一俵ニ付十五錢方ノ高位ニ在リ大正元年ニ至リテハ更ニ一俵二十錢方ノ上位ヲ示セリ其原因ハ多々アルヘキモ要シテ左ノ數点ニ歸着スル如シ

- 一、品質ノ一定セシコト
- 二、取引ノ便利ナリシコト
- 三、搗減及腐敗蝕害ノ減少セシコト

ハ、不破郡

同郡ニテハ明治三十八年本縣告諭第七號及訓令第八十號ノ旨趣ニ基キ各町村ニ於テ産米検査ヲ施行スルニ至レリ而シテ其内町村農會ノ事業トセルモノト組合ノ事業トセルモノト町村若クハ區ニ於テ各規約ヲ設ケ實行セルモノトアリ而シテ検査員ハ町村ノ地主又ハ小作人中ヨリ選定シ場所ハ可成農民ノ集合シ易キ箇所ニ開設シ費用ハ其俵數ニ賦課徴收セリ其等級ハ一等、二等、三等、ノ三級ニ區分シ各等ニ應シ獎勵ノ金品ヲ附與セシムルコト、セリ
抑モ事業開始ノ當時ニハ生産者ノ手數煩雜ノ爲メ一般嫌忌ノ情甚タシク頗ル悲觀スヘキ狀況ナリシカ地方有力者ノ極力之カ實行ヲ獎勵シタルト生産者カ其効果ノ莫大ナルヲ自覺スルニ至リタルトニ依リ大正元年ニ至リテハ殆ント全部ノ受檢ヲ見ルニ至レリ
今其規約ノ内赤坂町ノ分ヲ擧クレハ左ノ如シ
(各町村共大同小異ナレハ之ヲ省ク)

赤坂町米質改良組合規約

- 第一條 本組合ハ赤坂町米質改良組合ト稱ス
- 第二條 本組合ハ戦後經營ノ一トシテ米質ヲ改良シ國力ノ増進ヲ計ルヲ以テ目的トス
- 第三條 本町ニ土地ヲ所有シ作得米ヲ得ル地主ハ本組合ニ加入スルモノトス

- 第四條 稻ハ蒔取り稻架ニ掛ケ落シタル後二日間以上乾燥セシムルコト
- 第五條 稻作ハ土地ニ適スル其種ヲ選ビ栽培セシメ一俵内ニ收ムル米ハ必ス一種類トセシム
- 第六條 本組合ニ米質改良委員若干名ヲ置ク
- 第七條 米質改良委員ハ改良上必要ナル選種栽培其他蒔取ノ適期ヲ注意奨励スルモノトス
- 第八條 改良委員ハ稻架掛及藁乾ノ眞況ヲ視察シ米質検査ノ資ニ供スヘシ
- 第九條 小作米ハ一定ノ場所ニ検査場ヲ設ケ検査ヲナスモノトス
- 第十條 本組合員ハ検査済ノ證票ヲキモノハ受納スルヲ得ス
- 第十一條 検査場ニハ検査員數名ヲ置ク
- 第十二條 米質ノ検査ヲナス標準ハ別ニ之ヲ定ム
- 第十三條 品質優等ノ小作人ニ對シ奨励ノ方法トシテ相當授賞スルモノトス
- 第十四條 組合員小作米ヲ收納シタルトキハ其日毎ニ俵數並ニ小作人名ヲ検査場ヘ通知スルモノトス
- 第十五條 米質検査ニ關スル費用ハ俵數ニ割當テ組合員ノ負擔トスルモノトス
- 第十六條 小作人ニ於テ米質改良ノ行爲ヲ妨クルモノハ各組合員ニ通知シ土地ヲ貸與セサルモノトス
- 第十七條 組合員ハ本規約ノ條項ヲ遵守スルタメ記名調印スルモノトス
- 第十八條 本規約以外ノ事柄ハ時々組合協定實施スルモノトス



各俵共押捺ス

- ◇ 特等
- ◇ 一等
- ◇ 二等
- ◇ 三等

赤坂町米質検査並ニ賞與規定

- 第一條 米質検査員ハ本規定ニヨリ米質ノ検査ヲナス
- 第二條 検査所ニハ検査員七名以上書記一名小使一名ヲ置ク
- 第三條 検査員ノ日當ハ金五十錢トス
- 第四條 検査日ハ左ノ如シ
 - 十一月中 十五日ヨリ十七日迄 廿一日ヨリ廿五日迄
 - 十二月中 五日ヨリ九日迄 十五日ヨリ十九日迄
 - 廿五日ヨリ廿九日迄
 - 一月中 五日ヨリ九日迄 十五日ヨリ十九日迄
 - 廿五日ヨリ廿九日迄
- 第五條 米質検査ヲ爲ス方法左ノ如シ
 - 一、乾燥ノ良否
 - 一、粃死米碎米青赤米ノ有無
 - 一、俵裝ハ二重トシ内俵ハ越年糞若クハ古俵ヲ用ヒ内俵三ヶ所外俵ハ五ヶ所ニ重廻リハ緊縛シ不動繩ヲ掛ケンムルコト
 - 一、一俵ノ容量ハ四斗二升
 - 一、一升ノ量目ハ三百八十匁以上

- 第六條 検査員ハ特等米一等米二等米普通米ノ四種ニ區別シ各検査證ヲ添付ス
- 特等米
- 乾燥充分ニシテ粃死碎青赤米ナク一升ノ量目四百匁以上

- 壹等米 一升ノ量目三百九十五匁以上
 - 同上
 - 貳等米 一升ノ量目三百九十匁以上
 - 同上
 - 普通米 一升ノ量目三百八十匁以上
 - 同上
- 第七條 風水等ノ天災ニ罹リ其米ヲ得難キ農戶組合員協議ノ上検査ノ方法ヲ取捨スルコトアルヘシ
- 第八條 検査員検査證ヲ付スルト同時ニ一俵ニ對スル量目ヲ記シ添付シ置クヲ要ス
- 第九條 組合規約第十三條ニヨリ特等米一俵ニ對シ米二俵一等米ニ一俵二等米ニ五合ヲ賞與スルモノトス
- 第十條 米俵ノ賞與米ハ各納付ヲ受クル組合員ノ負擔トス

二、安八郡

廢藩後貢米ノ制度廢止セラル、ヤ産米ノ調製及俵裝甚タシク粗漫トナリ往時御藏米ノ産地モ其名聲全ク地ニ墜チタリ依テ之カ挽回策トシテ明治三十六七年ヨリ盛ニ品評會ヲ開催シテ之カ改良ヲ獎勵シタリ尋テ明治三十八年縣告諭第七號及訓令第八十號ヲ以テ米質ノ改良ヲ獎勵セラル、ニ及ヒ有志者ハ茲ニ郡事業トシテ産米検査ノ施行ヲ希望シ續テ郡會ノ建議トナリ遂ニ明治三十九年郡令第三號ヲ以テ産米検査規則ヲ制定シ同年産米ヨリ郡事業トシテ之カ實施ヲ見ルニ至レリ

而シテ規則ニ示ス如ク個人ノ請求ハ一ヶ所百俵以上ニ滿ツルヲ要シ共同納所ハ少數ト雖モ之カ請求ニ應

スルヲ以テ共同納所ハ自然ニ増加シ個人ノ請求ハ大地主以外ニ於テハ開始セラレサリシモ漸次検査ノ効果ハ一般ニ認めラルルニ至リ生産者各自共同申合ノ上數戸一ヶ所ニ持寄り検査ヲ要求スルニ至リ逐年受檢數ヲ増加セリ今其成績ト之ニ要シタル經費トヲ示セバ左ノ如シ

安八郡産米検査一覽表

年	次	検査總俵數	成			經費
			一	二	等一三以下	
明治三十九年	同	一五、三三四	二五	一八三	四、〇〇〇	
同 四十年	同	二四、三三五	二五	二五八	四、〇〇〇	
同 四十一年	同	四〇、一一一	三七	四〇、四七	一、〇四、〇〇〇	
同 四十二年	同	五七、六四	三七	二八、九六	一、一、〇〇〇	
同 四十三年	同	六五、七三	三七	七七、四七	一、四、〇〇〇	
同 四十四年	同	八、七九	五九	八五、三六	一、四、七〇〇	
大正元年	同	七、五六	三〇	一、五五	一、四、七〇〇	

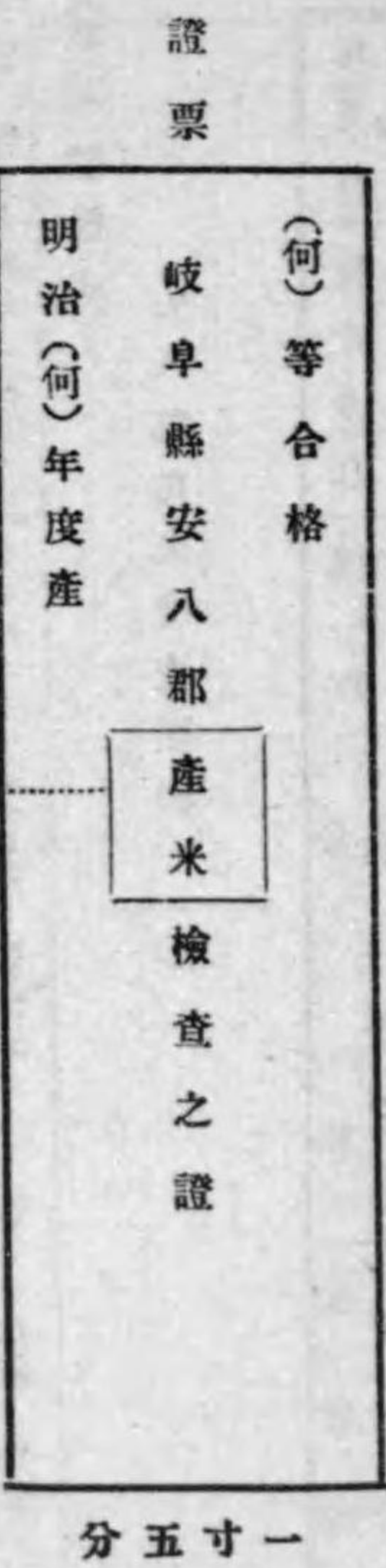
検査開始當時ニ於テハ検査當局者ノ其事業ニ習熟セサリシト受檢者ハ検査ニ對スル手數ト時間トヲ厭ヒ且容量、調製俵裝等ニ付キ検査員カ一々非難批評ヲ加フルヲ憤リ又地主小作人ノ間ニ於テハ賞罰ニ關シテ紛糾シ或ハ受檢者カ検査用具ノ運搬上故意ニ之ヲ破壊シ或ハ検査吏員ニ暴行ヲ加フルカ如キ紛擾アリシモ逐年検査ノ効力カ市場ノ聲價ヲ昂進セシムルニ至リシヲ以テ自然各自ノ生産米ニモ受檢スルノ狀況ヲ呈シ漸次其惡弊ヲ終熄セシムルニ至レリ

検査ノ實施ニ伴ヒ從來一々見本ニ依リ取引セラレタル同郡産米ハ検査等級ニ依リ賣買セラル、ニ至リ就中急速ヲ要スル先約物ノ如キハ一電報ニ依リ多數ノ取引ヲ爲ス如キ又現物ノ受渡ニ際シ米質其他ニ關シ双方共無用ノ交渉ヲ避クルカ如キ且一般ニ米製良好トナリシ爲メ同一等級ノ米ノ如キモ秋收時ニ於テ已ニ一俵三十錢以上ノ高値ヲ保チ土用後ニ至リテハ五十錢内外ノ差違ヲ現スニ至レリ今其規則ヲ示セバ左ノ如シ

安八郡産米検査規則 (明治三十九年安八郡令第三號)

- 第一條 本郡内ノ産米ハ本則ニヨリ検査スルモノトス
- 第二條 検査ハ共同納所ヲ設ケ(町村大字一)町村農會若クハ團體ノ請求ニヨリ検査員出張之ヲ行フモノトス
一 個人ニシテ一回百俵以上ヲ集纏シ検査ヲ請求スルトキハ之レニ應スルコトアルヘシ
- 第三條 検査スヘキ事項左ノ如シ
品質、形状、色澤、乾燥、調製、容量、重量、俵裝
- 第四條 検査米ニハ左ノ等級ヲ付ス
壹等 第三條ノ各項ニ該當シ最優等ナルモノ
二等 第三條ノ各項ニ該當シ優等ナルモノ
三等 第三條ノ各項ニ該當シ普通以上ノモノ
前各等ニ該當セサルモノハ不合格トス
- 第五條 検査合格ノモノニハ一定ノ證票ヲ俵中ヘ差入レ尙其等級ニ應シタル合格印ヲ包面見易キ所ニ押捺ス
- 第六條 検査上使用スル證票及證印左ノ如シ

寸三徑 ① 一等 寸三徑 ② 二等 寸三徑 ③ 三等



- 第七條 産米検査ハ毎年十月一日ヨリ始メ翌年二月末日限トス
産米検査請求者ハ納所々所在地名及検査期日ヲ定メ郡長ニ請求スヘキモノトス
 - 第八條 検査員検査ノ節ハ證票ヲ携帯スルモノトス
 - 第九條 検査員ハ自己ニ關係アル産米ヲ検査スルコトヲ得ス
 - 第十條 検査ノ節ハ請求者又ハ其代理人必ス立會スヘキモノトス
- 附 則

第十一條 産米検査ハ明治三十九年度産米ヨリ施行ス



安八郡產米檢查施行細則 (明治四十一年安八郡訓令第五號)

- 第一條 產米檢查規則ニ定ムル檢查ハ本細則ニ依リ施行スルモノトス
- 第二條 檢查ヲナストキハ先ツ現品ト請求俵數トヲ照合シ次ニ調製俵裝ヲ檢查スルモノトス
- 第三條 產米檢查ハ左ノ各號ヲ具備スルモノヲ合格トシ其他ノモノヲ不合格トス
- 一 乾燥充分ニシテ變質ノ虞ナキモノ
 - 二 調製完全ニシテ屑米、粃米、青米ノ混入少キモノ
 - 三 俵裝完全ナルモノ
- 第四條 檢查員ニ於テ合格米ニハ產米檢查規則第五條ノ證票ヲ俵中ヘ差入レ同規則第六條ノ證印ヲ俵ノ末端便宜見易キ箇所ニ押スルモノトス
- 第五條 產米檢查所ニハ左ノ帳簿ヲ備フルモノトス
- 一 產米檢查原簿
 - 二 產米檢查日計簿
- 第六條 檢查員產米ノ檢查ヲ爲シタルトキハ翌日第三號樣式ニヨリ檢查ノ成績ヲ報告スルモノトス

(第一號樣式)

安八郡產米檢查臺帳

年月日	檢查月日	總數	格			請求者	檢查員氏名
			一等	二等	三等		
			合	不	甲	乙	

何町村

(第二號樣式)

安八郡產米檢查日計簿

年月日	總數	格			檢查員氏名
		一等	二等	三等	
		合	不	甲	乙

(第三號樣式)

安八郡產米檢查成績報告

檢查月日	總數	格			請求者氏名認印
		一等	二等	三等	
		合	不	甲	乙

右及報告候也

安八郡產米檢查員 氏

名印

年 月 日

郡 長 宛

(明治三十九年十一月十六日經決裁左記樣式ノ帳簿使用)

產米檢查成績明細書

檢查月日	檢查番號	俵數	一俵ノ重量	一俵ノ容量	一等品質	俵裝ノ長	住米所	氏名

安八郡産米施行手續 (明治四十四年十一月安八郡告示第二十三號)

(大正元年十一月安八郡告示第五號ヲ以テ改正)

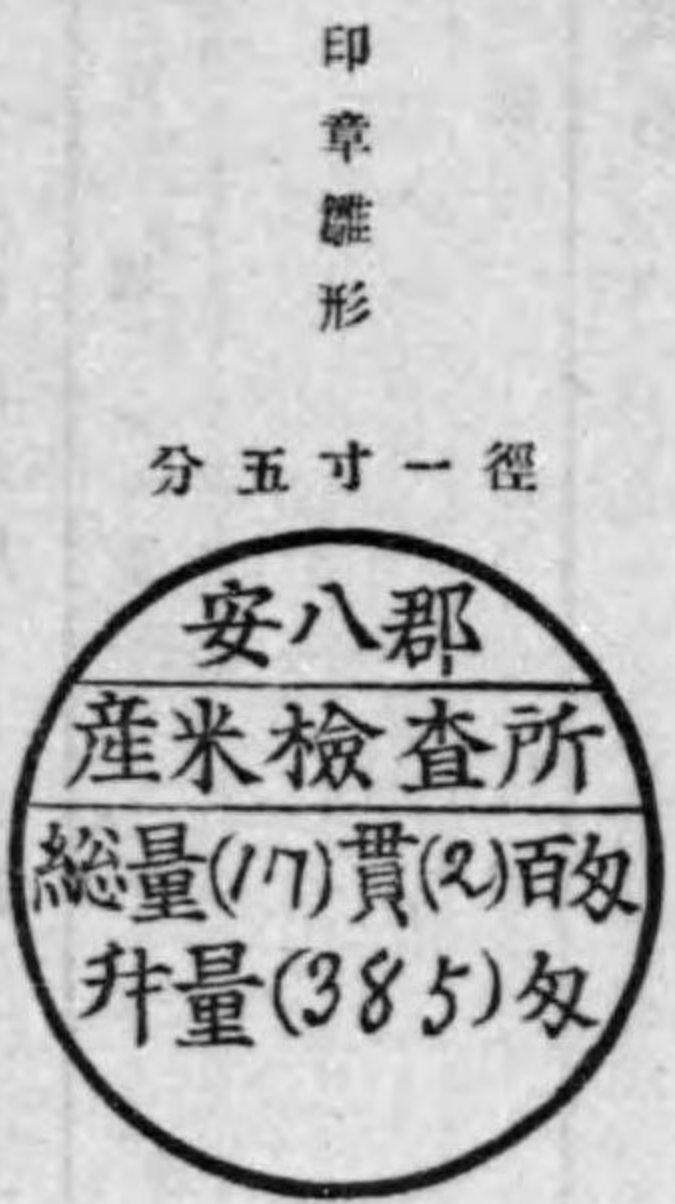
- 第一條 検査所へ提出シタル産米ハ如何ナル場合ト雖モ検査ヲ辞スルコトヲ得ス
- 第二條 検査ハ左ノ各條ニヨリ執行ス
- 第三條 米質ハ一俵毎ニ米刺ヲ以テ抜き出シ精査シ又俵裝ノ適否ヲ鑑別ス
- 第四條 壹俵ノ重量ハ一俵毎ニ計量シ俵裝膠繩ニ要箋ヲ附着ス要箋ノ裏面ニハ一俵ノ總重量及一俵ノ重量ヲ記入シタル左記ノ印章ヲ捺捺ス

美濃國安八郡何村
生産者 何 某

○ 大正何年産米

大正何年何月何日

寸 二



第五條 検査ヲナシタル産米ノ俵裝ニハ左記一號雛形ノ封緘紙ヲ以テ不動繩ト膠繩ニ掛ケ之ヲ卷付ケ封緘紙ナシニ號雛形ノ封印

ヲ捺捺ス但シ封緘紙ハ三種トシ一等白色二等青色三等赤色トス



第六條 容量及一俵ノ重量検査ハ一小作人一種類十俵毎ニ一俵ヲ取出シ計量ス但十俵未滿ト雖モ一俵ヲ計量シ一俵ノ重量ヲ見ルニハ壹斗ヲ計量シテ壹斗量ニ換算ス

第七條 等級ノ標準ハ左ノ各項ニ依ル

壹等 壹斗ノ重量 三百九十五匁以上

貳等 同 三百九十匁以上

參等 同 三百八十五匁以上

壹斗ノ重量前項ニ適合スルモノト雖モ検査規則第四條ニ該當セサルモノハ不合格トス

不合格米ニシテ一升ノ重量三百八十匁以上ノモノニハ安八郡産米検査規則第六條ノ規定以外ニ俵面見易キ所ニ左ノ證印ヲ捺捺ス



第八條 總テ検査ヲ行ヒタルモノニハ等級證印ノ上ニ左ノ證印ヲ押捺ス

査

第九條 俵中ニ差入ルヘキ證票ニハ明治(何)年度ノ文字ヲ記載ス

ホ、揖斐郡

同郡ニテハ從來各町村ニ於テ區々ノ方針ヲ立テ検査ヲ施行シ來リシモ稍不統一ノ嫌アリシヲ以テ明治四十一年十月郡内主ナル地主ヲ會合シ郡産米改良組合ナルモノヲ組織セシメ産米改良ト共ニ小作人保護奨勵ノ途ヲ講スルコト、ナレリ即チ一方各町村ニ於テ検査所ヲ設ケ數名ノ検査員ヲ置キテ産米ノ検査ヲ行ヒ地主ハ小作者ニ對シテ各等級ニ應シテ相當奨励金ヲ交付シ以テ改良ヲ助長セリ

明治四十五年本縣米穀検査規則ノ實施ニ伴ヒ組合ニ於テモ一層嚴正ニ産米検査ヲ實行シ其結果乾燥調製大ニ改善セラレタルモ尙一層嚴正施行ノ必要ヲ認メ大正二年度ヨリハ郡事業トシテ検査ヲ施行スルコト、セリ

検査ノ施行ノ結果品質ニ於テハ著シク統一ヲ來シ乾燥調製大ニ改善セラレ需用地ニ於ケル聲價ハ大ニ昂上セリ今其検査成績及其規則ヲ舉クレハ左ノ如シ

揖斐郡産米検査一覽表

年次	實 行 町 村 數	檢 査 總 俵 數
明治四十年	一〇	二三、八三九
同 同 四十一年	一一	二六、五八八
同 同 四十二年	一四	三七、六五二
同 同 四十三年	一四	三七、九六〇
同 同 四十四年	一四	一四、一八六
大 正 元年	一三	

揖斐郡産米検査規則

- 第一條 本郡内ノ産米ハ本則ニ依リ検査スルモノトス
- 第二條 検査ハ検査吏員之ヲ行フ
- 本則ニ於テ検査吏員ト稱スルハ産米改良監督員及産米改良検査員ヲ謂フ
- 第三條 検査ハ團體地主又ハ生産者商人ノ申告ニ依リ現品所在地ニ於テ之ヲ行フモノトス
- 第四條 検査ハ左ノ事項ニ就キ行フモノトス
 - 品質、乾燥、調製、容量、重量、俵裝、形狀、色澤
- 第五條 検査ヲ受クヘキ米穀ハ左ノ各號ニ據ルヘキモノトス
 - 一 乾燥ヲ充分ナラシムルコト

- 二 粒形ヲ齊一ニシ異形異質ノモノ又ハ生産年度ノ異ナル米ヲ混入セサルコト
- 三 調製ヲ完全ニシ青米、赤米、粃、枇、稗、屑米、碎米、土砂塵埃等ヲ除去スルコト
- 四 一俵ノ容量ハ當分四斗二升トナスコト
- 五 俵裝ハ岐阜縣米穀検査規則第六條第五號ニ依ルコト
- 第六條 検査米ニハ左ノ區分ニ依リ等級ヲ附ス

合格

- 特等 第四條及第五條ニ該當シ特ニ優等ナルモノ
- 一等 第四條及第五條ニ該當シ優等ナルモノ
- 二等 一等ニ亞クモノ
- 三等 二等ニ亞クモノ
- 四等 三等ニ亞クモノ

前各等ニ該當セサルモノハ不合格トス

第七條 検査済ノ米穀ニハ第一號雜形ニヨル證票ヲ俵裝ノ小口繩ニ附着シ尙第二號雜形ノ證印並ニ第三號雜形ニヨリ其ノ等級ニ應シタル證印ヲ俵裝面末端見易キ所ニ押捺ス

第八條 検査ハ分チテ二種トス

- 一 定期検査 毎年十一月一日ヨリ 翌年一月三十一日マデ 毎年二月一日ヨリ 其年十月三十一日マデ
 - 二 臨時検査
- 第九條 検査ヲ受ケントスルモノハ第四號様式ノ申告書ヲ産米検査所又ハ最寄検査員出張所ニ差出スモノトス
- 第十條 検査ヲ受ケルモノハ一俵ニ付金壹錢ノ手数料ヲ納付スルモノトス
- 第十一條 受檢者ハ検査ノ際立會スヘシ但シ止ムヲ得サル場合ハ代理人ヲ立會セシムルヲ妨ケス

第十二條 検査吏員検査ヲ行フニ當リ本則第五條ノ規程ニ適合セスト認ムルトキハ再調ヲ命スルコトヲ得

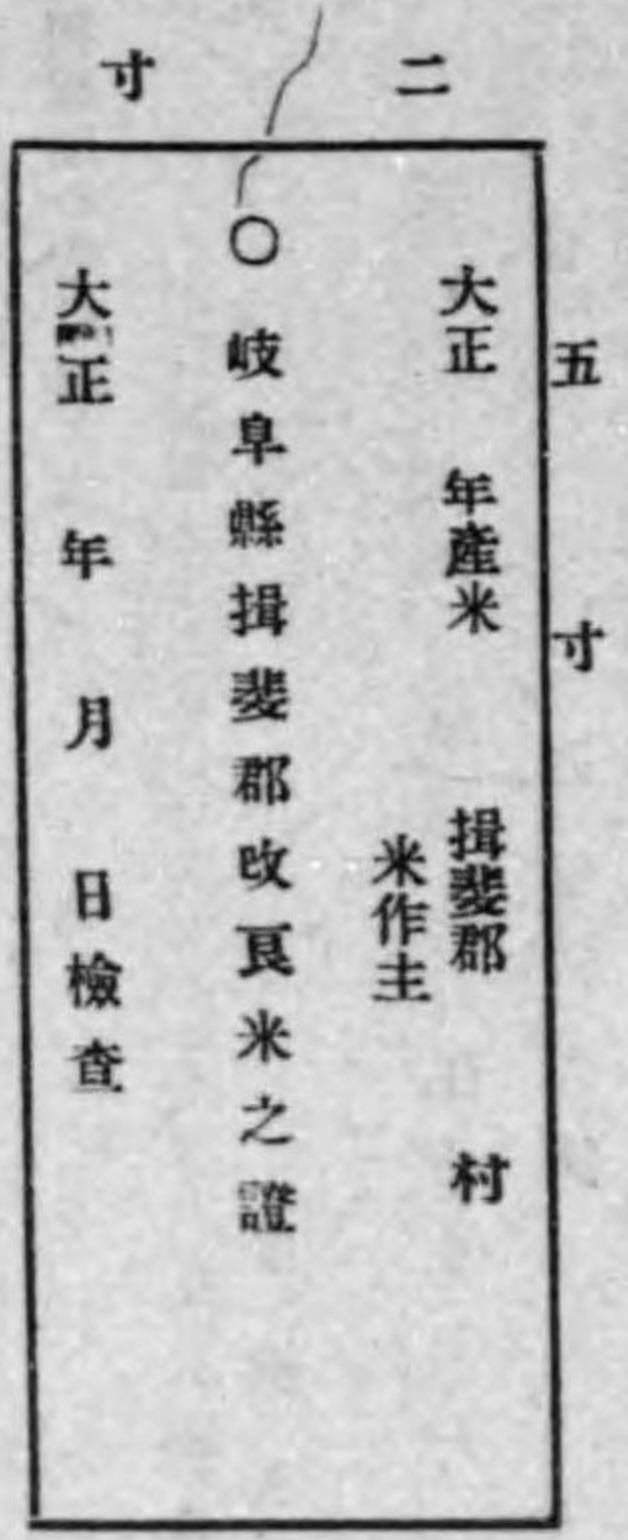
第十三條 検査ノ爲メ必要ナル積換、運搬、掛廻シ、秤量、解俵、其他ニ關スル夫役及費用ハ受檢者ノ負擔トス

第十四條 検査吏員ハ検査ノ節ハ第五號様式ノ證票ヲ携帯スルモノトス

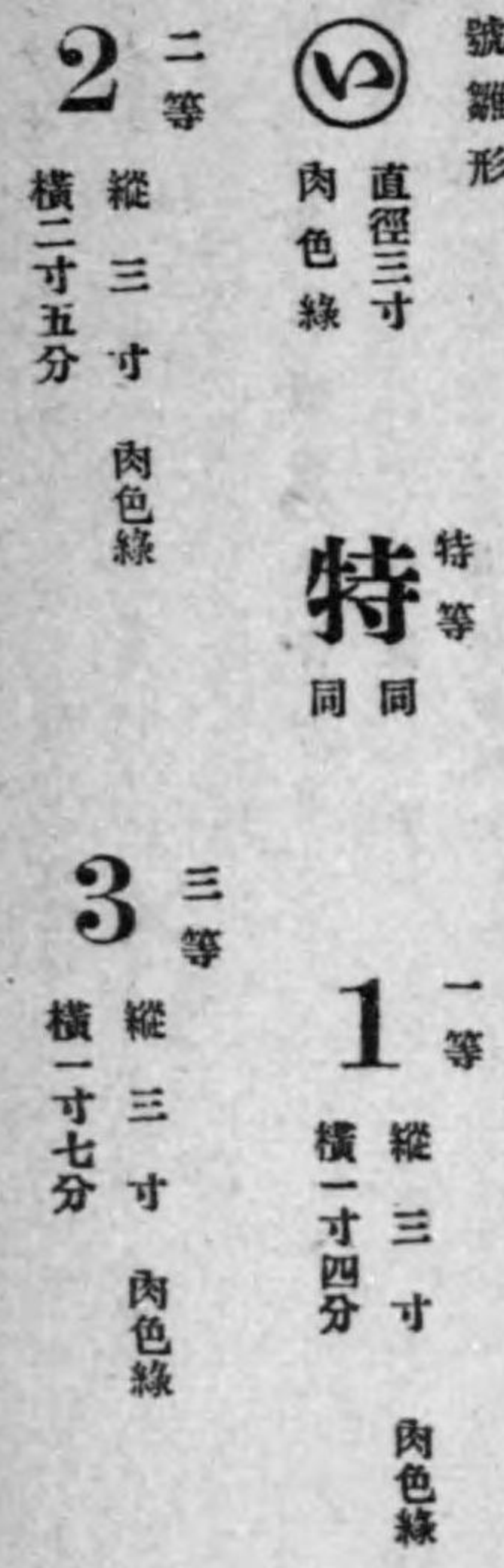
第十五條 検査吏員ハ自己利益ニ關係アル米穀又ハ親族關係アル申告人ノ米穀ヲ検査スルコトヲ得ス

第十六條 産米検査ハ大正二年産米ヨリ施行ス

第一號雜形



第二號雜形



四等
4 縱二寸八分 肉色綠
橫三寸

取消印
X 縱三寸 肉色黑
橫三寸

產米檢查申告書

- 一、所在地
- 二、生産地
- 三、種類
- 四、俵數
- 五、手数料金

右御検査相成度申告候也

大正 年 月 日

受檢者

揖斐郡 村大字

番 號 大正 年 月 日 受付

特等 俵 四等 俵

壹等 俵 等外 俵

貳等 俵 備考 品不 乾不 調不 俵俵俵

參等 俵 備考

大正 年 月 日 検査

検査員

(備考) 本則ハ大正二年産米ヨリ實施セラルヘキモノナルモ參考記載ス

揖斐郡米穀検査手續準則

第一條 検査ハ左ノ標準ニ據リ之ヲ行ヒ合格ヲ定メ尙ホ合格ハ三等ニ鑑別ス

一 合格

- 一、品質色澤佳良ニシテ粒形ノ齊一ナルモノ
- 二、乾度調製俵裝ノ完全ナルモノ
- 三、一俵ノ容量四斗二升ナルモノ
- 四、一俵ノ重量皆掛十七貫五百目以上ノモノ

一 不合格

- 一、碎米、粃稗稗青米土砂塵芥等ノ混入多キモノ
- 二、乾燥不充分ニシテ變質ノ虞アルモノ
- 三、異種類又ハ同種ト雖モ品位ノ差甚シキ米ノ混入セルモノ
- 四、濡米、腐敗米、屑米、虫害米等ノ爲ニ依リ改調ノ見込ナキモノ

一 等級

- 壹等米 壹俵ノ重量皆掛十七貫八百目以上ニシテ乾燥充分米質優等調製最モ完全ナルモノ尙一升ノ量目三百九十五匁以上ノモノ
- 貳等米 壹俵ノ重量皆掛十七貫六百目以上ニシテ乾燥調製完全ナルモ米質稍劣ルモノ尙一升ノ量目三百八十五匁以上ノモノ
- 參等米 壹俵ノ重量皆掛十七貫五百目以上ニシテ調製完全ナルモ自然種類混淆米質劣ルモノニシテ尙一升ノ量目三百八十匁以上ノモノ

第二條 容量ハ左ノ方法ニ依リ検査ヲ行フモノトス

- 一 一口總俵數ノ二割以上抽籤ヲ以テ抽出シ解俵ス
 - 二 四俵未滿ハ衡器ヲ以テ檢量ス
- 但必要ト認ムルトキハ解俵スルコトアルヘシ

第三條 解俵シタル米俵ハ全容量ヲ檢シ尙一斗ノ量目繩俵棧俵等各別ニ量目ヲ檢査スルモノトス
 前項抽出俵米ニシテ容量ニ不足スルトキハ再調整ヲナサシム
 第四條 檢査係自己ノ俵米ハ他ノ檢査係ニ就キ檢査ヲ受クヘシ

へ、本巢郡

本郡ハ由來上米產地ナルヲ以テ之カ改良ノ自然ニ緩慢ニ付セラレツ、アル嫌ナキニアラサリシカ明治四十二年ニ至リ郡會ノ決議ニ依リ茲ニ檢査ヲ施行スルコト、ナレリ

明治四十二年ノ初期ニ於テハ經費不充分ノ爲メ受檢米一俵ニ付金貳錢五厘ヲ寄付セシメタル地主ノ義務的試驗的ニ受檢セシ爲メ其額極メテ少カリシ、モ漸次其數ヲ増加セリ即チ左表ノ如シ

本巢郡産米檢査一覽表

年次	受檢町村數	檢査總數	成					等一	等二	等三	等四	等五	不合格
			特	一	二	三	四						
明治四十二年	七	五、〇三五	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 四十三年	二	一七、七四三	—	一八	—	—	—	—	—	—	—	—	—
同 四十四年	二	二四、六六八	—	—	五八	—	—	—	—	—	—	—	—

大正元年ニ至リ等級ヲ變更セリ左ノ如シ

年次	受檢町村數	檢査總數	成					等一	等二	等三	等四	等五	不合格
			特	一	二	三	四						
大正元年	一七	二七、〇三三	七	六	五〇	一、六〇〇	三、〇〇六	五、六二三	一〇、四九一	四、六八四	—	—	

右ノ外郡檢査ノ上直ニ縣檢査ヲ受ケタルモノ左ノ如シ

年次	受檢町村	檢査總數	成					等一	等二	等三	等四	等五	外
			特	一	二	三	四						
大正元年	一七	二一、三五四	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

郡檢査ノ實施上ノ効果ハ大概左ノ各號ノ如シ

- 一、檢査米ハ其等級ニ依リ取引スルヲ得テ商人ノ利便多シ
- 二、地主ニ於テハ其等級ニ依リ賣却スルヲ得テ利益ヲ失フコトナシ
- 三、市場ノ聲價ヲ博シ檢査米ハ常ニ高位ヲ保テリ
- 四、米作ニ關スル改良ヲ促進ス

左ニ檢査關係令規ヲ舉クヘシ

本巢郡産米檢査規則

- 第一條 本郡ノ産米ハ本則ニ依リ檢査スルモノトス
- 第二條 檢査ハ共同納所(町村大字一)ヲ設クル團體又ハ町村農會ノ請求ニ依リ檢査員出張シ之ヲ行ノモノトス
個人ニシテ一回百俵以上ヲ集積シ檢査ヲ請求スルトキハ之レニ應スルコトアルヘシ
- 第三條 檢査スヘキ事項左ノ如シ
品質、形狀、乾燥、色澤、調製、容量、重量、俵裝
- 第四條 檢査米ニハ左ノ等級ヲ附ス
壹等

第三條ノ各項ヲ具備シ最優等ナルモノ
 貳等
 第三條ノ各項ヲ具備シ優等ナルモノ
 參等
 第三條各項ヲ具備普通以上ナルモノ
 前各等ニ該當セサルモノハ不合格トス
 第五條 検査合格ノモノニハ一定ノ證票ヲ使中ニ入レ尙等級ニ應シタル合格印ヲ使面見易キ個所ニ押捺ス
 第六條 検査上ニ使用スル證票並ニ證印左ノ如シ
 證 票

何等合格

岐阜縣本巢郡 産米 検査之證

明治四十年 年度産米 四斗二升入

郡役所印

検査員印

證 印 本 寸三方 特 一 二 三 徑以上 三寸

第七條 産米検査ハ毎年十一月一日ヨリ始メ翌年二月末日限トス
 産米検査請求者ハ納所々在地名及検査期日ヲ定メ郡長ニ請求スルモノトス

第八條 検査員検査ノ節ハ左ノ證票ヲ携帯セシム

第 號

大サ

三寸ニ

二寸

氏 名

表 本巢郡産米検査員之證

裏 本巢郡 役 所

第九條 検査員ハ自己ニ關係アル産米ヲ検査スルコトヲ得ス
 第十條 検査ノ際ハ請求者若クハ其代理人必ス立會スルモノトス

附 則

第十一條 検査ハ明治四十二年産米ヨリ施行ス
 二 第六八七三號通牒 明治四十二年十一月二日
 一、調製 死米、碎米、青米、赤米、糝、粃等ノ混在セサル様普通器械ヲ以テ精選セシムルコト
 二、樹入 壹俵容量四斗二升トス
 三、俵裝 二重俵トシ内俵ハ重量五百匁位棧俵ハ徑凡ソ八寸重量六十匁共ニ越年藁ヲ用ヒ内俵ハ三ヶ所外俵ハ五ヶ所二重
 繩ニ緊縛シ不動繩ハ四通掛トス
 四、品質査定 等級ノ査定ハ検査規則ニヨルハ勿論ナルモ壹斗ノ量目三貫八百五十匁以下ノモノハ不合格トシ又一、二、三等ノ外品質ニヨリ特ノ字ヲ押捺シ品質ノ優良ヲ表證スルモノトス

ト、可兒郡

可兒郡ニテハ明治三十八年縣告諭第七號及訓令第八十號ニ依リ米穀改良規則ヲ定メ各町村農會ヲシテ之

カ検査ニ従事セシム

検査ノ結果容量ハ一定シ乾燥ハ佳良トナリ調製俵装完全トナリ共同納所ノ増加シ賣買上ノ利便ハ頗ル米價ヲ昂上セシメタリ今大正元年ノ検査成績及規則ヲ舉クレハ左ノ如シ

可兒郡産米検査一覽表

年次	町村執行數	検査總數	成				受賞合格	普通合格
			一	二	三	四		
明治四十二年		二元、四四	一、〇四七	五、三三九	二、〇、六五	二、四四九		
同 四十三年		三、五二二	二、四三九	九、三四三	二〇、〇〇五	一、四二五		
同 四十四年		三、〇九〇	一、九五	五、五二二	二、八四三	七	二、〇七六	
大正元年	一六	三、三三三	一、七〇〇	五、二二六	二、五、五八	二五	一、六四	
							一、七七一	
							一、二一元	

可兒郡米穀改良規則

第一條 小作米及賣却米ハ本年本縣訓令第八十號及郡訓令第八號ニ基キ検査ヲ行フモノトス

第二條 検査合格ノモノニハ中札及俵ノ一方ノ口ニ左ノ検査證ヲ附ス

四斗二升入

検査済

明治卅八年 月 日

住所

氏名

農會印

第三條 左ノ各項ニ該當セサルモノハ不合格トス

- 一、一升ハ重量三百八十匁以上ノモノ
- 二、乾燥ノ十分ナルモノ
- 三、調製ノ粗雜ナラサルモノ
- 四、俵装ノ完全ナルモノ
- 第四條 不合格米ハ之ヲ小作米トシテ納付シ又ハ他ニ賣却スルコトヲ得ス
- 第五條 小作米ニシテ合格シタルモノヲ三等ニ區分シ一等ヨリ二等ニ至ルマテ左ノ賞與ヲ行フモノトス
 - 一等 一俵ニ付 拾五錢
 - 二等 一俵ニ付 八 錢
- 第六條 町村若ハ大字毎ニ検査委員若干名ヲ置キ町村農會長之カ委員長トナル
- 第七條 検査委員ハ町村農會長ノ指名トシ其任期ハ一ケ年トス
- 第八條 検査委員ニハ相當ノ報酬ヲ給ス
- 第九條 本事業ニ要スル經費中賞與ニ關スルモノハ小作米ヲ受クヘキ地主ノ負擔トシ他ハ町(村)農會ニ於テ支辨ス
- 第十條 町村農會長ハ小作米検査ノ執行及經費ノ收支ヲ地主ノ一名若ハ數名ニ委任スルコト

3、品評會ノ開催

本縣ニテハ明治三十八年以來大ニ産米改良ノ獎勵ニ努メタルハ前已ニ記載セル所ナリ隨テ其改良ノ手段トシテ産米ニ關スル各種ノ品評會モ獎勵ノ結果多數開催セラル、ニ至レリ特ニ移出米検査ノ施行ニ伴ヒ俵米品評會並ニ俵裝競技會等ノ開催ハ一層獎勵セルヲ以テ漸次開催セラル、ノ機運ニ向ヒ其成績大ニ見

ルヘキモノアリ今各出張所ヨリ報告セルモノヲ舉クレハ左ノ如シ

大正元年度中米穀改良ニ關スル各種品評會一覽表

郡	町村	開催月日	會名	出品數	受入	賞	主催者	備考
郡	蘇原村	十二月廿三日	農産品評會	五七	一〇	二	蘇原村農會	農産物ノ内米ノミヲ摘記ス
	常盤村	一月十日	産米品評會	三三	七	二	常盤村農會	同
	厚見村	一月十七日	生産物品評會	三〇	九	二	厚見村農會	生産物ノ内米ノミヲ摘記ス
	岩村	一月卅日	農産品評會	四〇	七	二	岩村農會	同
	長良村	二月五日	産米品評會	二七	五	二	長良村農會	同
	則武村	二月九日	同	三〇	八	二	則武村農會	同
	各務村	二月十八日	農産物品評會	三九	九	二	各務村農會	農産物ノ内米ノミヲ摘記ス
	芥見村	二月十八日	同	四〇	八	二	芥見村農會	同
	鷺山村	二月廿日	産米品評會	二〇	二	二	鷺山村農會	同
	南長森村	二月廿五日	農産品評會	二〇	二	二	南長森村農會	同
	北長森村	二月廿七日	産米品評會	三三	一〇	二	北長森村農會	同
	日野村	二月廿七日	農産物品評會	二五	二	二	日野村農會	農産物ノ内米ノミヲ摘記ス
	黒野村	一月十一日	自作米品評會	二二	一	二	黒野村農會	同
	同	一月十一日	小作米品評會	三六	三	二	同	同
	同	一月十一日	俵裝品評會	一四	一	二	同	同

郡	町村	開催月日	會名	出品數	受入	賞	主催者	備考	
郡	木田村	二月十八日	自作米品評會	六	三	二	木田村農會	農産物ノ内米ノミヲ摘記ス	
	堀津村	一月七日	農産品評會	一五	一	二	堀津村農會	同	
	下中島村	十二月十日	同	三〇	二	二	下中島村農會	同	
	同	十二月十日	俵裝競技會	六	一	二	同	同	
	羽島郡	同	十二月九日	海津郡青年製作品展覽會	一七	一	二	海津郡青年會	主トシテ俵裝材料ナリ
		同	三月一日	俵米品評會	一〇	二	二	同	俵米品評會ト同時ニ之ヲ行フ
		同	十一月十日	製作品評會	三	二	二	同	同
		同	同	産米品評會	八	二	二	同	同
		同	同	同	九	二	二	同	同
	海津郡	東江村	十一月十日	製作品評會	三	二	二	東江村青年會	同
		廣幡村	十二月十二日	農産物品評會	五	四	二	廣幡村字口ケ島橋正團	農産物ノ内米ノミヲ摘記ス
		小畑村	十二月廿七日	同	八	四	二	同	同
		池邊村	二月十二日	池邊村第三回小作米並ニ第二回農産物品評會	二	一	二	池邊村農會	同
		時村	十二月二十日	小作米品評會	三	一	二	時村農會	同
	老養郡	同	同	同	三	一	二	同	同
同		同	同	三	一	二	同	同	
同		同	同	三	一	二	同	同	
不破郡	同	同	同	三	一	二	同	同	
	同	同	同	三	一	二	同	同	
	同	同	同	三	一	二	同	同	
不破郡	十二月六日	農産物品評會	三	一	二	不破郡農會	農産物ノ内米ノミヲ摘記ス		
同	一月六日	小作米品評會	八	三	二	同	同		
同	一月九日	同	二	一	二	同	同		

郡上郡		郡岐		郡那		郡惠	
上之保村	十一月廿四日	鶴里村	十一月二十日	明世村	十二月八日	本郷村	十二月七日
農産物品評會		農産物品評會		農産物品評會		産米品評會	
三三	六	六	六	六	六	三三	三三
一九	四	六	六	六	六	三三	三三
六	三	九	五	九	五	三三	三三
一〇	八	二六	一〇	二六	一〇	三三	三三
二〇	二	四	一五	四	一五	三三	三三
四〇	三	六	一	六	一	三三	三三
一五	一	一	一	一	一	三三	三三
上之保青年會		鶴里村青年會		明世村農會		本郷村農會	
農産物ノ内米ノミヲ摘記ス		農産物ノ内米ノミヲ摘記ス		農産物ノ内米ノミヲ摘記ス		農産物ノ内米ノミヲ摘記ス	

1105

郡可兒		郡加茂		郡山縣		郡本巢		郡妻		郡揖	
池田村	十二月十九日	豐岡町	十二月十三日	下伊自	十二月十五日	千疋村	十二月廿六日	西郡村	二月十六日	小島村	三月十六日
産米品評會		生産物品評會		青年作製農藝品評會		農産物品評會		農産物品評會		農産物品評會	
三六	五	一七	七	一七	七	一七	七	八	七	元	三
三六	五	一七	七	一七	七	一七	七	八	七	元	三
五	二	三	五	三	五	六	二	五	四	六	二
二	五	四	一〇	四	一〇	六	四	四	一〇	二	七
三	九	五	一四	五	一四	六	六	〇	三	二	一
四〇	六	九	一〇	九	一〇	元	一	一五	二	一	九
六	六	四	一	四	一	一	一	一	二	一	九
町村農會		可兒郡農會		加茂郡農會		山縣郡農友會		西郡村農會		小島村上東野區青年會	
農産物ノ内米ノミヲ摘記ス		農産物ノ内米ノミヲ摘記ス		農産物ノ内米ノミヲ摘記ス		農産物ノ内米ノミヲ摘記ス		農産物ノ内米ノミヲ摘記ス		農産物ノ内米ノミヲ摘記ス	

1104

勝	岩	大	坂	上	下	三	中	釜	土	瑞	多	春	帷	白	種
山	村	井	下	田	濃	津	津	戶	津	浜	見	里	子	鳥	積
			(同)勳七	(囑託)勳七	(囑託)勳七	(囑託)勳七	(囑託)勳七	(囑託)勳七	勳七				(囑託)勳七	(囑託)勳七	
久	中	林	原	川	松	伊	高	藤	松	安	田	安	玉	曾	鈴
保	西	勇	朝	上	岡	藤	村	田	原	藤	中	藤	置	我	木
田	淳	吉	夫	團	操	新	木	利	治	藤	實	謙	金	善	二
幸	一			藏		兵	勝	三	太	肇	三	市	市	平	葉
作				藏		衛	藏	三	耶				耶		

日比野彦太郎

北	池	揖	墨	大	大	赤	玉	今	關	垂	時	根	栗	大	東	石	駒	松
方	野	斐	侯	載	垣	坂		須	原	井		古	笠	江	江	津	野	木
							(囑託)正八、勳六	(囑託)勳七			(囑託)			(兼務)		勳七	(兼務)	
川	安	安	川	虫	片	栗	近	山	缺	稻	後	阿	安	高	高	池	武	吉
島	藤	藤	島	鹿	山	田	藤	木	増	増	藤	都	井	木	木	田	田	原
甚	真	真	甚	俊	千	耕	佐	猪	久	久	彌	亮	衆	初	初	文	守	政
一	一	一	一	一	網	造	三	藏	次	次	右	吉	之	次	次	藏	一	吉
					代				耶	耶	衛		進	耶	耶			
					八				門		門							

柳橋勝右衛門

小畑戸市

勳七、功七
和田卯右衛門

3、郡役所勤務検査員

安八郡	養老郡	海津郡	羽島郡	不破郡	本巣郡	揖斐郡	稻葉郡
今加中	杉小川	兒山毛	大渡岩炭	清今大山太	加伊三安	小今北宮	岩國吉江
津藤島	口野倉	田利玉	八井邊市	村本橋常	藤田藤村	森村平智	崎島分村
喜彦鐵	欣謙太	武平七	木辰吉郎	康三順三兵	五豊七勝	省芳秀太	利常三三
一耶吉	一三耶	雄治郎	助耶次雄	二耶一耶作	耶吉治助	作雄藏耶	六基耶耶

大正二年九月十八日印刷
大正二年九月二十日發行

岐阜縣米穀検査所

印刷人

杉山伊三郎

岐阜縣稻葉郡加納町壹丁目貳百貳拾貳番地

印刷所

萩野印刷所

岐阜縣岐阜市朝日町千四百四拾貳番戶

1424
529

大正二年四月二十日發行
大正二年四月十八日印刷

如阜總米海會刊

刊印人

海會刊

刊印所

海會刊

終